

昭和51年度 和歌山県文化奨励賞

なか がみ けん じ
中 上 健 次

住 所：東京都小平市

出 身 地：和歌山県

生 年：昭和21年

◎業績及び経歴

昭和40年県立新宮高等学校卒業後、羽田国際空港事業株式会社に勤務。退職して現在に至る。

昭和48年、「19才の地図」を文芸に発表、第69回芥川賞候補に推される。その後第72回、第73回と連続して芥川賞候補となり、昭和50年出身地の新宮市と思われる町を舞台に労務者一家の姿をエネルギーギッシュに画いた「岬」で第74回芥川賞を受賞された。

なお、芥川賞作家では初めての戦後生まれであった。

氏は、フォークリフトの運転手など現場での力仕事の経験が長く、そういう分野も迫力をもって描ける注目の異色作家といわれる。

受賞後、小説集「蛇淫」・エッセイ集「鳥のように獣のように」が出版された。

現在、文芸に小説「枯木灘」を連載中である。